

目標KWD: 片付け、収納

Title: 片付け・収納のコツとアイデアを紹介！ | 収納スペースがない場合はどうする？

#### <レギュレーション>

- ・当社が作成した見出し以外に必要な情報がありましたら追加してください。
- ・ひとつの見出しに対しての文字数の目安は200～350文字程度です。
- ・ひとつの見出しに対しての文字数が400文字を超える場合は、別途見出し(大見出し・小見出しどちらでも可)を作成していただき題材を切り分けてください。
- ・文章を書く時は、(結論)→(その理由)→(具体例)→(総論)となるよう心がけてください
- ・積極的に「箇条書き」や「表」を利用してください(観覧時にコンテンツが見やすくなるため、見出しごとに箇条書きもしくは表を設置する形が理想)
- ・コンテンツの内容はできるだけ具体的に記載してください(あいまいな表現は情報の質が低くなるためNG)  
「安い」「高い」などの表現はNGで「相場より500円安い」「商品Aより2,500円高い」などなるべく具体的な表現をする
- ・コンテンツのエビデンスは基本「公的機関」「事業者」「新聞社」「ニュースサイト」など信頼性の高いものを参考にしてください。
- ・エビデンスとした情報元はコンテンツへ積極的に掲載してください。(できるだけ多くエビデンスを集めてください)
- ・執筆して頂く情報にはエビデンスをWordのコメント機能を利用して設置してください

#### 読者が考えていること、知りたいこと

- ・上手く収納する方法を知りたい
- ・部屋が狭くて収納スペースないけどどうすればいい？
- ・服、おもちゃの収納に困っている
- ・収納のコツ、アイデア教えて！

#### 執筆していただく記事の中で1回以上記述してほしい単語

片付ける、コツ、方法、部屋、仕方、順番、基本、整理、アイデア、リビング、掃除、簡単、苦手、おすすめ、工夫

## 目次

H2. 片付けはどこから始める？	2
H3. 簡単な場所・範囲が狭い場所	3
H3. 人目につく場所	3
H3. 普段よく使う場所	3
H2. 簡単に片付く整理整頓方法	3
H3. 持ち物をすべて取り出す	4
H3. 仕分けをする	4
H4. 「捨てる・捨てない」の判断基準を決める	4
H4. 判断が難しいものは残していい	4
H4. 思い出のあるものの判断は最後に行う	4
H4. ものを捨てることを恐れない	5
H3. 収納する	5
H4. 収納スペースがない部屋の場合	5
H3. 掃除をする	5
H2. カテゴリー別収納アイデアとコツ	6
H3. 洋服の収納アイデアとコツ	6
H3. おもちゃの収納アイデアとコツ	6
H3. 書類の収納アイデアとコツ	6
H2. 買取アプリ『Pollet』で物を処分する	7
H2. まとめ	7

## 本文

整理整頓されたきれいな部屋に住みたいと考えているものの、自分では片付けや収納が上手くできずに困っている人は多いのではないのでしょうか。片付けはしたいけれど部屋が狭くて収納スペースがない、服やお子さまのおもちゃの収納が上手にできない方などへ向けて、収納のコツとアイデアを紹介します。



## H2.片付けはどこから始める？



部屋の片付けや掃除が苦手な人は、散らかっている部屋をどこから片付けを始めたらいいかわらない状態であることも多いようです。散らかり具合にもよりますが、片付けは数時間や1日で一気に終わらせようとせず、ある程度の日数をかけて少しずつ進めていくと負担も少なく済みます。まずは、どこから片付け始めればよいのか、下記の3つのポイントを一つずつ説明していきます。

### 【片付けはどこから始める？】

1. 簡単な場所・範囲が狭い場所
2. 特に目につく場所
3. 普段よく使う場所

## H3.簡単な場所・範囲が狭い場所

まずは、掃除や片付けに慣れていない人でも簡単に済ませられるような簡単な場所や、狭い範囲の場所から始めてみましょう。片付けや掃除を比較的短時間ですぐに終わらせられる場所から手を付けていき、徐々に範囲を広げていけば上手いきます。もともと片付けが苦手な人が、掃除や整理ができない自分を変えようとしていきなり家の中全体を一気に片付けようとしても成功する人は少ないでしょう。狭い範囲の片付けが成功すれば小さな達成感を得られ、その後の片付けへのモチベーションも保ちやすくなります。具体的にどんな場所の整理が適しているのかというと、トイレや浴室などの短時間で終わらせられる場所や、自分の身の回りの小物やカバンの中の整理から始めても良いでしょう。

## H3.人目につく場所

簡単に掃除が終わらせられる場所、範囲が狭い場所の整理ができれば、次は人目につく場所を片付けましょう。人目につく場所をキレイにすると、自分の部屋にいつ人が来ても恥ずかしくなくなり、自然と人を招きたくもなるものです。人を招くことが増えれば、いつもキレイな部屋をキープしようと定期的に部屋を片付けるようになり、掃除や整理することを習慣化できます。具体的には、玄関や玄関のすぐ横の棚などのスペースをキレイにしたり、廊下に置かれている本やモノを片付けることから始めましょう。玄関は、宅配などで人が来た時に不意に見られる場所のため、いつもキレイにしておけば恥ずかしい思いをしなくて済みます。廊下も、宅配だけではなくちょっとした訪問があった際に意外と見られる場所のため、玄関の次にキレイにしておくことをおすすめします。

### H3. 普段よく使う場所

少しずつ掃除や整理のコツをつかんできたら、普段よく使う場所も片付けてみましょう。リビングや寝室など、ほぼ毎日欠かさず使う場所をキレイにキープできれば、朝起きたときや部屋でくつろぎたいときなども気分よく過ごせます。また、定期的にごまめに整理できるようになれば大幅な時間を取って大掃除などをする必要もなくなるため、時間も有効に使えます。リビングや寝室のほか、キッチンやダイニングスペースなどもキレイな状態を保てるようになれば、食事の準備も楽しくなるでしょう。

## H2. 簡単に片付く整理整頓方法



片付けや収納することを習慣化するためにも、簡単に片付く整理整頓の方法を知っておきましょう。毎回膨大な時間を使って足の踏み場もないくらいに散らかってしまった状態から一気に片付けるよりも、数日に1回などごまめに整理できるようになれば片付けや掃除などもそこまで面倒に感じなくなります。まずは、片付けの基本的な順番を紹介します。

#### 【簡単に片付く整理整頓方法】

1. 持ち物をすべて取り出す
2. 仕分けをする
3. 収納する
4. 掃除をする

片付けに対するモチベーションを上げて少しでも整理を捗らせるために音楽をかけたり、片付けが終わった後の自分へのご褒美を用意しておくのもおすすめです。片付けの時間を億劫に感じさせない工夫を自分なりに考えてみましょう。

### H3. 持ち物をすべて取り出す

はじめに、掃除する場所を決めたらその場所の物を全部取り出し、その場所に収納していたモノや数を把握します。このとき、自分が持っているものを明確に把握することが大切です。その場所に収納していた物をすべて把握することで、いるものといらないものの仕分けやその判断が格段にしやすくなります。また、その場所にしまっていたものを全て出すことで、失くしたと思っていたものが見つかるといったケースもあります。

### H3.仕分けをする

収納していたものを出したら、一つずつ確認しながら必要か不要か、捨てるか捨てないかを決めていきます。また、違う場所に収納したほうが良いものがあればそのままよけておきましょう。仕分けをするときは、その場の勢いで決めてしまうと本当は必要だったものを捨ててしまう可能性もあります。後悔しない仕分けを効率よく行うためのコツを紹介します。

#### H4.「捨てる・捨てない」の判断基準を決める

仕分けを始める前に、捨てる・捨てないの判断基準をあらかじめ決めておきます。事前に基準を決めておいたほうが良い理由は、あらかじめ基準が決まっていれば瞬時に捨てる・捨てないを判断でき、仕分けの効率が良くなるためです。ひとつ一つ本当に必要かどうかを考えていたら片付けを終わらせるまでに膨大な時間がかかってしまいます。また事前に基準を決めておけば、感情やその時の勢いで本来必要なものを捨ててしまうのを防げます。書類や衣類などの判断基準の例を以下に挙げましたので、参考にしてみてください。

##### 【判断基準例】

- 書類:内容にざっと目を通し、期限などが切れているものは処分する。
- 衣類:春物の服であれば、今年と去年の春に腕を通していないものは処分する。
- 化粧品:使用期限を過ぎているものや、また買いたいと思わないものは処分する
- 本や雑誌:1年以上読んでいないものは処分する(そのほか、本を処分する基準の参考になる記事は[こちら](#))

#### H4.判断が難しいものは残してい

仕分けをする中で、必ずしも捨てるか捨てないかの2選択肢のみに当てはめる必要はありません。どうしても決められない、判断できないという物に関しては、「一旦保留する用」の段ボールなどを用意し、その中に入れて数日考えてみるのもおすすめです。捨てるか捨てないかのどちらかしか選択できない状態のままでは、判断するのに時間を取られてしまい効率が下がり仕分けを終わらせられない可能性が出てきます。必要か不要かを瞬時に判断し効率よく片付けを進めるためにも、「一旦保留する」という逃げ道を作っておくことが大切です。

#### H4.思い出のあるものの判断は最後に行う

自分の所有物を捨てるか・捨てないか判断していく中で、思い出のあるものの判断は最後に行うことをおすすめします。片付けが一通り終わってから、落ち着いて冷静に考えられるタイミングで最終的な判断を行うようにしましょう。思い出のあるもので場所をとるようなものであれば写真に残したり、スキャナできるものなどはデータ化して保管するのもおすすめです。前述の一旦保留の段ボールと一緒にしたり、思い出の品用の箱も別途用意して入れておいても良いでしょう。まずは片付けの勢いや、掃除をしているときの感情に任せて大切なものを捨てるようにすることが大切です。266

#### H4.ものを捨てることを恐れない

収納しているものを一度全部出して整理していく中で、あまり使っていないもの・まだ使えるものを捨てるのに躊躇してしまう人も多くいます。しかし、冷静に考えるとこれまでそれを使っていなかった時点で「なくても困らない」と言えるのではないのでしょうか。また、絶版になっている本やプレミアが付くものなど以外は、どうしても必要になればまた購入できます。まだ使えるものを捨てることにどうしても抵抗がある場合は、フリマアプリや買取サービスなどを利用して人に譲ったり売ったりするのもおすすめです。2度と手に入らないものは慎重に考えなければなりません、それ以外のものは思い切って手放す勇気を持ちましょう。

##### 【捨てないほうが良いもの】

- 絶版になっている本や、初版(第1版第1刷)など手に入りにくい本
- 手作りやプレゼントなど、今現在では手に入らないもの

### H3.収納する

仕分けをして自分が所有しているもの量を減らしたら、残すと判断したものを改めて収納していきます。ただ単にキレイに収納していくのではなく、あらかじめ収納場所をしっかりと決めてから片付けていきましょう。収納場所を決めるときのコツは、そのものを実際に取り出して使うときの動線をイメージします。例えば、衣類をチェストなど

に収納していくのであれば、身に付ける順番で上から収納していきます。一番上の段が下着や肌着、中間がトップス、下の段にはボトムスや靴下といった具合です。それ以外のものでも、よく使うものは腰くらいの高さの場所に収納すると取り出しやすいでしょう。取り出しやすさやカテゴリー、または使う人などで分けて収納場所を決めるのもおすすめです。

#### H4.収納スペースがない部屋の場合

片付けをしてキレイに収納したくとも、自分が住んでいる部屋などに十分な収納スペースがないケースもあります。収納スペースがない場合は、スチールラックやカラーボックスなどの収納家具を購入する、壁面収納などの方法があります。それらも難しい場合は、トランクルームやレンタル倉庫、収納サービス等の利用も検討してみることをおすすめします。また、さらにモノが増えてしまうことを懸念して、収納用具(カラーボックスやラックなど)の購入を躊躇する人がいます。はじめはモノが増えてしまうように思えるかもしれませんが、収納場所が全くない状態のままだと床に直置きになったり、散らかった印象を与えてしまいます。最低限の収納スペースを確保することは無駄にはならないことを理解しましょう。

#### H3.掃除をする

仕分けや整理整頓を効率よく行い、上手に収納できたら、最後は掃除機をかけたり汚れている部分を清掃しましょう。家具の表面に溜まった埃や床に落ちているゴミなどを一掃すれば、今後も使い続ける部屋の空気も一新されます。キレイな部屋で快適な日々が送れるようになれば、有意義な時間がさらに増え生活環境も向上するでしょう。

## H2.カテゴリー別収納アイデアとコツ



ここからは、カテゴリー別に収納のコツとアイデアを紹介します。洋服やおもちゃの収納、そして大切な書類の収納など、お子さまがいるご家庭などでも活用できる内容です。

79

#### H3.洋服の収納アイデアとコツ

一般的に、衣類の収納をする場所はクローゼットをイメージする人が多いかもしれませんが、収納アイテムにはプラスチックの収納ボックスや、布製の衣装ケース、衣類をハンガーに通してかけておけるハンガーポールなどの吊り下げ収納もあります。ただ衣類をクローゼットの中にただ単に積み重ねていくだけではなく、クローゼット内のスペースを上・真ん中・下に分け、スペースを無駄なく使うことがポイントです。

上部はシーズンオフの衣類や書類、中部は吊るし収納でシワをつけたくない衣類をかけたり、下部はカラーボックスなどを用いてカバンや小物、ボトムスなどを入れていくのも良いでしょう。そのほかにも、衣類をスッキリと収納させるコツとして、カラーボックスやケースに衣類を入れる際は、重ねて入れるのではなく立てて入れると何があるのか一目で把握できます。引き出しの中は仕切りを作って収納すると、よりわかりやすくなるでしょう。397

### H3.おもちゃの収納アイデアとコツ

子どものおもちゃを収納するときのポイントは、自分で取り出し・片付けが自然とできるように工夫することです。子どもだけでも動かしやすく軽いケースや、蓋のないオープンなもの、キャスターがついているものなど、扱いやすい収納ケースを選ぶとよいでしょう。

子ども自身が自分でおもちゃを取り出したり片付けたりしやすいよう、低い位置に収納ケースを設置するなど適切な高さにしてあげることが大切です。また、お子さまが小さい場合は視覚でも判断しやすいよう中に入っているおもちゃの写真を取ってケースの前に貼り付ける、収納ボックスの色を変える、ナンバリングなどの工夫をすることで収納場所がさらにわかりやすくなります。

### H3.書類の収納アイデアとコツ

自宅に保管しておかなければならない書類には、請求書や契約書、保険や税金関連、またお子さまがいるご家庭は学校関連など、色々な種類があります。まずは保管している書類をジャンル別に分類した上で、不要なものを処分していくことをおすすめします。また、書類の保管方法としては基本的に横積みではなく立てて保管するとわかりやすくなります。インデックス付きのクリアファイルなどを用意してラベル分けし、どこになんの書類があるか、必要になったときにすぐ取り出せるようにしておきましょう。書類を溜め込まないためにも、定期的にファイルの中身を更新できるようルールを決めておくとい良いでしょう。

## H2. 買取アプリ『Pollet』で物を処分する



部屋にある不要なものを片付ける際、状態が良いものに関してはアプリなどで買い取ってもらうという方法もあります。買取サービスの中でも、「[Pollet](#)」は手数料や送料がかからないためおすすめです。(査定後キャンセル

の場合は除く)また、電話やweb上からの操作は不要で、アプリからの手続きだけで自宅にいながら、不用品を配達員が回収してくれるため外出する必要もありません。

フリマアプリに出品した時のように買い手が見つかるまでに時間がかかったり、売れ残ったりする心配もなく、購入者希望者とのやり取りや値下げ対応なども必要ありません。回収の時に不用品を入れる買取箱や査定料は全て無料のため、定期的な片付けの中で発生した不用品を何度でも気軽に買い取ってもらえます。本やマンガ以外にも、ゲームやカメラ、AV機器やブランド品などの高価買取も実施中です。片付けや整理整頓を進める中で不用品の買取りもしてもらいたい方はぜひ「[Pollet](#)」のアプリをダウンロードしてご利用ください。

## H2. まとめ



片付けや上手に収納するのが苦手という方も、狭い範囲からできることを少しずつ積み重ねていくことで、キレイでスッキリとした部屋をキープできるようになります。不用品があれば買取サービスを利用することで、ちょっとしたお小遣い稼ぎにもなるためおすすめです。本記事で紹介したコツやアイデアをもとに、片付けや収納の習慣化を目指してみましょう。